

お産の安全・安心を患者の視点で考えるシンポジウム 産科医療補償制度における医療事故の

原因分析と再発防止のための課題

日時：2010年4月10日(土) 午後 13:15 ~ 17:00

場所：T'S 渋谷アジアビル 501会議室

(東京都渋谷区神南 1-12-16 渋谷アジアビル 5F TEL: 03-5457-7881)

< JR 渋谷駅のハチ公前から徒歩 6 分 >

昨年 1 月に創設された「産科医療補償制度」。その制度による事故の再発防止のための公的な原因分析が今年 1 月から始まりました。しかし、数多くの事故被害者らによる再発防止のための訴えや指摘が、これまで十分に生かされて来なかった経緯もあります。

このシンポジウムは、これまでの多くの産科医療事故を実際に情報収集して分析し、誰よりもその実情をよく知るパネラーの講演をもとに、安全で安心なお産の実現のために必要なことを皆で考えるものです。

< 第 1 部 講演 >

我が国の出産制度の特徴、その利点と欠点 (約 60 分)

我妻 堯さん (産婦人科医、「鑑定からみた産科医療訴訟」著者)

医療事故分析の問題点 (約 20 分)

加部一彦さん (新生児科医、愛育病院新生児科 / 医療安全管理室)

原因分析委員会に対する期待と不安 ~ 信頼される調査が可能か ~ (約 20 分)

隈本邦彦さん (大学教授、産科医療補償制度原因分析委員会委員)

患者側弁護士からみた分娩事故と裁判例 (約 20 分)

松井菜探さん (弁護士、医療問題弁護団産婦人科部会幹事)

< 第 2 部 パネルディスカッション >

演者 4 名に陣痛促進剤による被害を考える会代表の出元明美さんを加えたパネラーと、会場の参加者が質疑応答や意見交換をしながら、議論を深めていきます。(司会 勝村久司)

予約不要で、どなた様でもご自由にご参加頂けます。(会場定員 204 名)

受付：PM12:45 ~、参加費：1000 円(資料代込)、お問い合わせは下記まで。



主催：「陣痛促進剤による被害を考える会」

(URL) <http://homepage1.nifty.com/hkr/higai/> (tel) 090-7126-4141

共催：「患者の視点で医療安全を考える連絡協議会」